



## トップニュース：JR福井駅高架開業。新しい福井の将来像を！

去る4月18日、福井駅周辺のJR北陸本線が高架線に切り替えられ、新しいJR福井駅がオープンしました。オープン初日は平日だったにもかかわらず、1万人もの人が新しい福井駅をひと目見ようと押しかけたそうで、終日、福井駅が多くの人出で賑わいました。それに加えて面白いと思ったのは、その人たちが福井駅前の商店街に流れ込み、都心部の商業地区全体が賑わったことでした。オープンからしばらくして、ものめずらしさがなくなれば、また人通りが少なくなっていくのは仕方ないですが、高架下の新しい商業施設のオープンもあり、都心部に恒常的に人通りが戻ってきてくれることを期待したいと思います。

これからしばらくは、JRの地上に残った線路の撤去工事の進展にともない、町の様子が刻々と変わっていくと思います。その時に表れてくる現象を、情報としての確に読んで、臨機応変に新しい福井の将来像を描きなおしていく柔軟さが、お役所ではない私たちには求められていると思います。駅前電車通りの整備が進み、福武線の電車が新しくなり、古い福井駅が取り壊され、駅前広場が出現し、それらが進むにつれて、今までイメージできなかったものがイメージできるようになってくると思います。これからの数ヶ月の取り組みはこれからの数十年の福井を決めるものになると思います。それを踏まえて、じっくり観察するとしましょうか。（文：清水）

### 活動報告

- 3月26日 MAP部会
- 3月31日 バス停バリアフリーチェック打合せ
- 4月1日 法人登記・NPO法人ROBA発足
- 4月2日 「住まい・まち学習」実践報告論文発表会
- 4月6日 LRT部会
- 4月7日 法人登記完了
- 4月8日 アースデー実行委員会
- 4月9日 第1回理事会
- 4月16日 福井市市民活動助成説明会参加
- 4月16日 NPO事業報告書説明会参加
- 4月18日 アースデー実行委員会
- 4月19日 LRT部会
- 4月20日 まちづくり懇談会「今後の議題について」
- 4月22日 4月例会・第2回理事会

### 今後の予定

- 4月24日 4月定例イベント「越美北線奥越の旅」
- 4月26日(火) LRT部会
- 4月27日(水) MAP部会
- 5月13日(金) 県庁ホールLRTパネル展開催  
～19日(木)
- 5月21日(土) NPO法人化第1回総会  
記念講演会 講師：服部重敬さん
- 5月随時 LRT部会
- 5月随時 MAP部会
- 5月随時 アースデー実行委員会
- 5月未定 バス停バリアフリーチェック  
研修会
- 5月未定 駅前商店街駐輪場問題申入れ(市)
- 6月12日(日) 福井アースデー

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

「モノレールと新交通システム」佐藤信之 著  
グランプリ出版 2200円+税  
ISBN4-87687-266-X C-2053

保存用資料として読むと、本当によくまとまった書物である。モノレールの補助金を担当していた私でも知らなかったモノレールの創生期の話など、歴史の文脈で今の新交通を見ると、町を走る新交通も違って見えてくる。公共交通の待ち時間、駅の停車時間、そういったものを減らしつつ省力化できる交通機関をみんな考えてきたのであるが、結局既存交通施設との連続性を考えると、バスに限りなく近いIMTS、鉄道に限りなく近いLRTが今後の都市交通の主流を占めそうである。現在の新交通は、バスと鉄道でできることを何ら超えていないのが残念である。(美濃部)

## 第2回コミバス市民フォーラム「コミバスで市民のまちづくり」参加報告 水野俊典

ロバが鯖江にやってきた。

僕の地元鯖江によくROBAの活動の輪が広がりました。3月18日金曜日、鯖江市饗陽会館多目的ホールにて、「コミバスで市民のまちづくり」が開催されました。当日市民フォーラムの様子ですが、始めに新しいコミバスを育てる会実行委員長の石本さんの挨拶の後、基調講演「コミュニティーバスでつなごうまちづくり」を内田会長と林博さんが講演をし、「新しいコミバスを育てる会活動報告」に次いで、おいしいコーヒーを飲みながら和やかで落ち着いた環境での、「コミバス談義(ワークショップ)」と時間が流れて行きました。

僕の感想は、基調講演での内田会長の言葉に「町を活性化するというのは、人と同じことが言えて何もしないで家にいると病気になるけど外に出かけると元気になるのと同じで町も人がいないとなりたたくて、町に人が増えることで町は賑わい活性化する」と言われた言葉が一部違うかもしれませんが印象に残りました。というのはフォーラムが終わってから、いつもと同じようにさばえNPOセンターに出入りしてそこで働く方の感想をよく聞くのですが、コミバスを利用してもらうために色々と案をだしてはいたけども利用者のことはあまり考えてはいなく、バス停や路線をどうするかを議論してきたと思うから、これからの活動としてROBAの利用者主体の活動内容は凄く勉強になったと聞きました。他にもワークショップでの時間ですが、各テーブルいくつか別れて、「コミバスのコース見直しについて」、「わたしがコミバスの社長ならこうする」、「利用しやすいコミバスのアイデア」、「中心市街地の活性化」とおもしろい4つのテーマで各テーブル1つテーマを決めて時間内で議論した後、各テーブルの代表者が発表することになりました。どこにでもある課題ですが、高齢者が鯖江でも増えてバスを利用するとなると、バスのステップが高いから低くする方法はないか、バス停の位置を坂に設置するのではなく平面に設置した方がいい、可能かどうか分からないがアルプラザ平和堂鯖江店敷地内までバス停を移動できないだろうか、車内アナウンスの情報を今まではバス停だけ案内していたがバス停周辺の施設名も案内できたらいい、バスマップもバス路線以外に利用者が使いやすくするための情報を載せたらどうかなど様々な意見が出ました。コミバスがこれからどう変わるか凄く期待しています。期待だけではなくコミバスの会議にも出席を頼まれました。また機会があればご報告します。

コミバス会議に出席したとしてまず提案するとしたら、誰にでも愛され利用してもらうようにと幼稚園から小学生までの絵をバス車内に展示するコミバスギャラリーがあるならば、バスの外側に好きなように絵を書いたコミバスギャラリーバス？を鯖江の町に走らせたく提案できたらいいと思います。

## 050402 第 6 回「住まい・まち学習」実践報告論文発表会住総研での発表

高橋 八州太郎

(財)住宅総合研究財団が年 1 回、住まいやまちづくりへの学習についての実践報告に関する論文を募集しておりました。友人の進めに応じて応募しました。単なるアイデア・研究論文ではなく、実際に教育(広義)の実践が求められます。

実は昨年もここへ投稿しましたが、発表論文には選定されませんでした。ちなみに昨年は「地方鉄道を存続させたパワーでまちの活性化活動を展開」と題してROBAの活動について書きました。今回は『まちづくりのツールとしてのバスマップの可能性とその活用事例』と題して畑副会長と協働執筆の形で応募しました。31地区の応募から12地区が選ばれ、今回の発表となりました。今回の応募の中でなんと碓田先生(ROBA会員・大阪)も発表されておりました。なんと、ROBAも全国展開になってまいりました。また、発表会にはなんと寺内さんも参加されており、さながらROBA同窓会の感がしました。

今回の発表はのりのりマップを使ったROBAの活動を紹介したものです。まず、「進歩ジウム」で発表した「乗り継ぎ調査隊のこと」、「県立大学への出前ゼミ」、「大安寺小学校への総合学習」、「都市再生モデル事業でわかったこと」を紹介したうえで、マップがまちづくりに貢献することを主張しました。私たちの「のりのりマップ」は、単なるマップではありません。そのマップを使って「街づくり」ができるかどうかでその価値がでてくると主張し、発表のまとめとして畑副会長は以下のようによまとめました。

### バスマップは総合学習・社会教育の題材・教材となりうる

- 子供の頃から自分で行動できる、自分で挑戦できることを経験しておくことが、子供の成長過程の中でいかに大切かを改めて知る。
- 過度に車に依存しきった福井においては、大人になっても公共交通に乗れない・乗り方を知らない人が多い。この事を考えると、大人への社会教育も必要であることが分かる。
- 路線図や時刻表などの交通情報を与えることで、TPOに応じて移動手段を選択できる可能性が大きく広がる。個人の自立性を促すことが可能になる。



発表する畑副会長

発表会場の建築会館(港区三田)



## 第30回まちづくり懇談会の報告

日 時：4月20日（水）19：00～21：00

場 所：サラダボウル（ガレリア元町）

参加者：ROBA/清水,坂川,堤端,内田 まちなか NPO/永井,大森,村北,八田

議 題：

### 駐輪問題の福井市への申入れの経過

<経過>

まちなか NPO 永井氏を通じて担当部に赴くも,都市整備推進室と総合交通課をたらい回し状態となる。なかなか進展しなかったがようやく,総合交通課で受け取ることとなった。

<今後>

- ・4月中に両 NPO を代表して,永井理事長と内田会長にて総合交通課で申入れ書の提出。
- ・5月中を回答期限とする。
- ・6月以降秋口までを目途に具体的な協議の場を持ち,次年度の予算化を含め方向付けをする。
- ・協議の場には,ROBA・まちなか NPO・商店街・福井市から委員として参画する。
- ・有効な方策が展開できるまで両 NPO にてしっかりウォッチしていく。

### これからのまちづくり懇談会について

これまで、まちづくり懇談会開催により一定の連携と活動の交流は進んだ。ただ、参加者も少なくなり,双方の NPO も個別課題で忙しい状況にあることから,定例の懇談会はひと休とみして,今後は課題ごとに必要に応じて実施することとした。

### プリズム福井見学

20:30頃でしたが,人で賑わっていました。サラリ - マン,学生が多かったようです。土産物売り場は閉まっていたましたが,飲食店は多くがまだ営業していました。新しいせいもあって,明るくて食べ物も美味しそうに見えました。

話によると,ガレリアモトマチにも人の流れが押し寄せ,福井国体（S46年？）以来の賑わいだったとか・・・。

もっとも,交通拠点としてはまだ未完成であり不完全ですが,人の流れは西武付近までの面的な広がりが期待できそうな,そんな予感がしました。

これからですね。きっと良くなりますよ。きっと。

以上（最終回とします）

（内田）

## NPO 法人 ROBA 定例総会及び関連行事のご案内

総会の日程・内容が決まりました！

日 時：5月21日（土） 10:30～12:00  
場 所：県民活動センター 研修室（県民会館5F）  
日 程：市民団体 ROBA 解散総会 10:30～11:00  
NPO 法人 ROBA 定例総会 11:00～12:00

同時に NPO 法人発足 記念講演も開催

（定例総会に引続いて開催します。）

日 時：5月21日（土） 13:30～16:30  
講演・質疑応答 13:30～15:30  
自由討論 15:30～16:30 「福井の LRT を考える」  
場 所：県民活動センター 研修室  
講 師：服部重敬氏（はっとり・しげのり） 都市交通研究家

< 講師略歴 >

1954年名古屋市生まれ。

主な著書に「路面電車と街づくり」（分担執筆、学芸出版社、1999）「都市と路面公共交通 欧米に見る交通政策と施設」（共著、学芸出版社、2000）また「米国における公共交通の再生とまちづくり」（アーバン・アドバンス No.17、財団法人名古屋都市センター、2000）など執筆や「路面電車を活用したまちづくり」

（平成14年度第2回路面公共交通研究会、2002）など講演多数。

現在、鉄道ファン（交友社）に「都市交通新世紀」を連載中。

演 題：『路面電車から LRT へ』

一見して同じような車両に見える路面電車と L R T。どこが異なっているのだろうか。国内外の路面電車を比較してその違いを明確にするとともに、わが国でどのように LRT を整備していくか、その可能性を探る。

【主な内容】（予定です）

- ・日本の路面電車の現状 ・路面電車と L R T ・ L R T をまちづくりに活かす
- ・カールスルーエ・モデルの現状 ・ L R T のパーツは揃ったが・・・

LRT パネル展も開催

タイトル 『都市再生に寄与する交通システム - LRT』

記念講演の講師の服部重敬さんが所有している画像をパネルにしたもの。日本、外国の LRT がまちづくりに活かされている様子を 10 数枚の写真で紹介しています。

パネル展 日時：5月13日（金）～19日（木） 9:00～17:00  
場所：福井県庁 1F 県民ホール  
日時：5月20日（金）～29日（日） 10:00～19:00  
場所：サラダボウル（ガレリア元町）





撮影日 05.04.17



撮影日 05.04.18

福井駅に行く時間がなかったので、線路が地上から高架に切り替わる姿を追ってみました。

(福井市松本上町 / 写真手前が森田方面 / 写真奥が福井方面 / 交差するのは、えちぜん鉄道) 変集長

作 / 漆崎 耕次

**編集後記・・・編集委員より一言**

林 (変集長)

「駅前 v s 大和田 集客合戦第1ラウンド始まり始まり・・・」

清水 (副編集長)

「春、気分一新！」

内田 (発行責任者)

「Newまちなかが、スタートしました」

事務局

**ふくい路面電車とまちづくりの会**

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail : [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL : <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>